

(S-50ppm軽油)
**環境にやさしい低硫黄軽油を
ご使用のお客様へ**



本日給油いただいた軽油は低硫黄軽油です

硫黄分が少ない軽油は、排出ガス中の粒子状物質(PM)などの発生を減少させ、環境の改善に大きく寄与する燃料です。この燃料は、今年の9月から東京都内の一部のスタンドで販売が開始され、2003年春にかけて順次関東圏で給油できるようになります。

低硫黄軽油は全てのディーゼル車にお使いいただける軽油です。排出ガス中のすす(黒煙等:大気汚染物質)などを取除く装置が取り付けられたディーゼル車には、低硫黄軽油をお使いください。

「S50低硫黄軽油専用」ラベルが貼付けられたディーゼル車には、必ず低硫黄軽油をお使いください。

※「S-50ppm軽油」とは、硫黄分が50ppm含まれている軽油で、これまでに5000ppm(0.5%)→2000ppm(0.2%)→500ppm(0.05%)→50ppm(0.005%)と段階的に低減されてきています。

長年お使いになった車で低硫黄軽油を給油したら

長年お使いになった車では、ごくまれに、軽油がにじみ出ることがあります。特に燃料噴射ポンプのまわりを点検してください(日常点検・定期点検時等)。

※燃料噴射ポンプの取付位置は裏面をご覧ください。

※低硫黄軽油は昨年より東京都などで試験導入されましたが、7~8年以上使った路線バスの一部で燃料噴射ポンプから軽油のにじみが見つかりました。原因はゴム製シールが熱で固くなっていたため、エンジンルームの温度が特に高い路線バス特有の問題と思われる。

もし軽油がにじんでいたら、最寄りの自動車販売会社等にご相談ください。

※軽油はガソリンと異なり、極めて引火性が低く、単体で燃えることはありません。

環境にやさしくするために「クルマの健康診断」をしましょう

日常点検や定期点検で車の健康状態を診断して必要な整備を行い、常に快適な状態を保ちましょう。

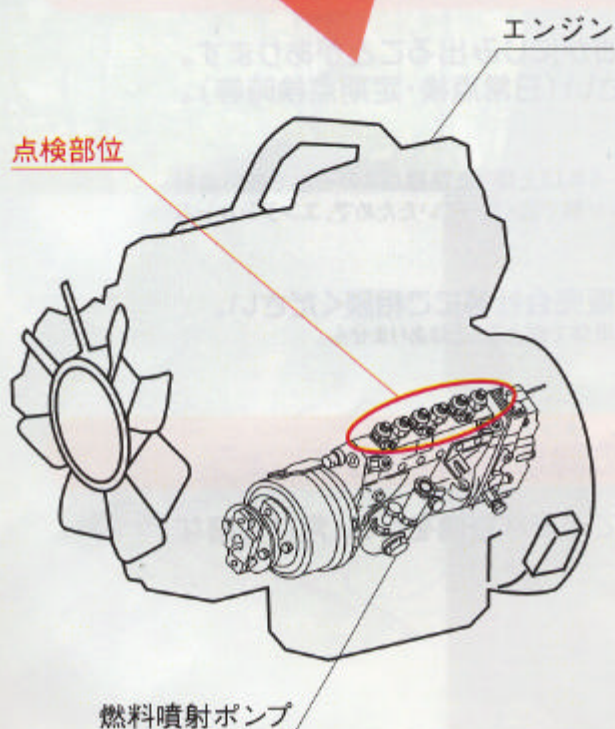
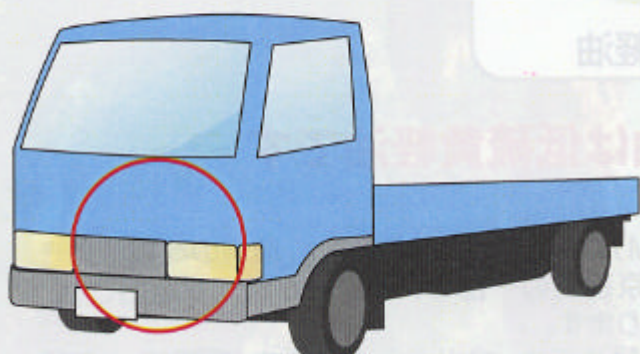
社団法人日本自動車工業会

燃料噴射ポンプの取付位置と点検部位

燃料噴射ポンプには、列型と分配型の2種類があります。

燃料噴射ポンプの形式により点検部位が異なりますので下図にてご確認ください。

列型燃料噴射ポンプ



分配型燃料噴射ポンプ

